

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 523

事務事業名	子ども会育成事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	遠藤 太美雄	内線	84-151

基本目標		人を育むまち
政策	010304	文化の振興と生涯学習の充実
施策		青少年の健全育成
関連施策		

会計	一般会計		
款	10	教育費	
項	5	社会教育費	
目	5	青少年対策費	
事業コード	030300	子ども会育成事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			子ども会会員(3歳以上～中学3年生まで)および育成会会員
意図	対象をどのような状態にしたいか			子どもたちが団体活動を通して仲間づくりや小さな社会人としての自覚を高める事が出来るよう、子ども会の活動助長、連絡調整、地域との連携を進め、子ども会活動の充実振興を図る。また、大人たちの地域教育の実践の場として活動を活発化させる。
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			大村市子ども会育成連合会事業として、定期総会・子ども大会・水 Rocket 大会・子ども会研修会、壁画コンクール・子ども会発表会を実施している。市は、子ども会育成連合会に補助金を支出し、子ども会活動を助成している。また、子ども会の指導者の資質向上を図るため指導者研修を行うとともに、子ども会の指導・助言にあたる指導者(ジュニアリーダー)を養成している。
事業期間	昭和	年度	～	平成
実施方法	補助			
根拠法令、要綱等	大村市社会教育振興補助金交付要綱			
国・県補助事業に係る本市単独施策				

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 単位子ども会数(市子連加入)	計画値	120	120	120	100	
		実績値	90	84	84		
		達成度	%	75.0%	70.0%	70.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度					
成果指標	① 子ども会加入率(市子連加入)	計画値	31	30	30	25	
		実績値	25	23	22		
	加入者/対象者数	達成度	%	80.6%	76.7%	73.3%	
		計画値	%	100	100	100	100
	② 市子ども会育成会連合会の事業への参加率	実績値	%	95.1	95	80.5	
		参加者/主催者が決定した参加予定者	達成度	%	95.1%	95.0%	80.5%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	565	565	565	565	700	700	700	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	565	565	565	565	700	700	700	
② 人件費(千円)	636	2,107	2,031	1,429	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.08	0.14	0.14	0.18	団体活動を通して、子どもたちの社会人としての自覚を高める	団体活動を通して、子どもたちの社会人としての自覚を高める	団体活動を通して、子どもたちの社会人としての自覚を高める	
時間外勤務(時間)	0	62	59.5	60				
嘱託等人数(人)		0.50	0.50					
フルコスト(①+②千円)	1,201	2,672	2,596	1,994				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	子ども会への加入増を目指し、小学校の入学式の時に子ども会への加入を呼びかけた。また、各地区住民センターだよりで子ども会加入の呼びかけを行った。今後は大村市公民館連絡協議会などの社会教育団体とも連携を図り、各自治会にも子ども会への加入促進や子ども会の結成等に協力してもらえよう、働きかけを行いたい。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	全国的に子ども会加入者の減少に歯止めがかからない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	核家族化、少子高齢化、地域社会での人間関係の希薄化など、子どもを取り巻く状況が変化し、青少年の問題行動が起こるなかで、家庭や地域社会の教育力を高め、青少年の健全育成を図るため、子ども会の育成は必要性が高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	異年齢の子どもとの団体活動を通して、子どもたちの社会人としての自覚を高める子ども会活動に対して助成を行うとともに指導者の研修や養成を行う必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	各子ども会へ大村市子ども会育成連合会主催の事業への積極的な参加を呼び掛ける必要がある。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	子ども会活動に参加した子どもたちは、異年齢の子ども同士の交流、親子のふれあい等により仲間づくりや小さな社会人としての自覚などを学ぶことができるので、子ども会活動は青少年健全育成の一端を担っている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	これ以上の補助金の削減は、子ども会育成に支障をきたす。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	大村市社会教育振興補助金交付要綱により実施している。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	引き続き広報活動等を行い、子ども会への加入や事業への参加を呼び掛ける。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	子ども会加入率の減少に歯止めがかかる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。